

# 立正大学

学内外の教育現場で  
「モラリスト×エキスパート」を育む。

▶お問い合わせ先

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16  
TEL 03-3492-6649 (入試センター)  
http://www.ris.ac.jp/



戸越銀座のマスコット「銀ちゃん」とコロック完売を喜ぶ学生たち



子どもたちが工夫して作る「地域安全マップ」

地域活性化に貢献しています。これらの活動がマスコミに取り上げられ、商店街の訪問者が倍増しました。

また、文学部社会学科・小宮信夫教授の「犯罪社会学」を研究するゼミでは、犯罪の起きやすい「場所」に着目し、犯罪予防を提唱する犯罪機会論をもとに「地域安全マップ」づくりの普及活動に取り組んでいます。

この「地域安全マップ」は、子どもたちや地域住民が実際に街を歩きながら、犯罪の起りやすい「誰もが入りやすく、誰からも見えにくい」場所を見つけ、それを地図に記していくというもので、子どもや地域住民の危険予測能力や回避能力を養うことを目標としています。

社会調査実習の課題としてスタートした「地域安全マップ」づく

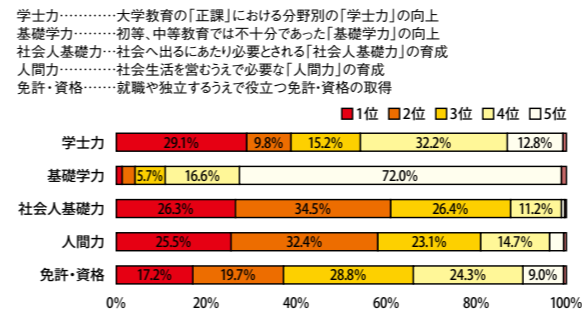
は、共同で「生活現場の知の創成」をテーマに体験授業を行っています。この授業では、進行性の難病ALS（筋萎縮性側索硬化症）や重い障害を生きる人々と、インターネットを通じた対話や施設等の訪問を重ねて、「よく生きるとは何か」といった哲学の根源を探求していきます。こうした体験授業を通して、学生は、通常の講義や書物だけでは得られない活きた知識と倫理を身につけ、豊かな人間性を培うことが期待されています。

地域社会や福祉施設のみならず、ボランティア活動の現場など、体験的な学びの場は数多く存在し、そこで豊かな人間性と専門性を育んだ学生たちは「モラリスト×エキスパート」として社会へと羽ばたいていきます。



ALS患者松後靖彦（ふなごやすひこ）氏との対面交流

図1: 大学教育に期待すること



立正大学では、大学教育に対する保護者のニーズに対応すべく、2・3年生の保護者を対象にアンケート調査を実施。「大学教育に期待すること」の項目では、「学士力」を1位に挙げる回答がもっとも多く、本来の大学教育の軸ともいえる専門分野の学びが期待されていることがわかります。一方、1位と2位の回答数を合わせると、「社会人基礎力」を挙げた回答者は全体の60・8%、「人間力」は57・9%と、その占める割合は圧倒的に高くなります(図1参照)。

また、「子に受けて欲しい教育プログラム」の項目では、「就職ガイ

ダンス」や「キャリア開発基礎講座」「インターンシップ」などの回答数が多く、就職・キャリアに関わるプログラムの希望が高いことがわかりました。

これらの結果をふまえ、同学では教育プログラムの改善や強化、就職・キャリア支援の取り組みを積極的に進めています。

また、「社会人基礎力」「人間力」の養成については、自己研鑽の心得を指導する科目「学修の基礎」をバージョンアップ。全学部で入学時からの必須科目としており、立正大学の歴史や学び方、同学生としての心構えをはじめとして、将来を見据えた自己の高め方までを講義します。ここで得られる学びは、そのまま同学のビジョンである「モラリスト」をめざすことにもつながります。

「子に受けて欲しい教育プログラム」で得票数の多かった就職・キャリア支援に関しては、「キャリアサポートセンター」においてトータルにサポートしています。同センターでは、学生の進路希望や履修・資格取得状況などを網羅した「学生キャリアカルテ」を作成し、これをもとにキャリア形成や就職活動を個別に指導。さらに、キャリア・就職支援サイト「立正キャリアナビ」の運営や、メールで就

「モラリスト×エキスパート」育成にあたっては、地域社会に出て学び、社会性と専門性の双方を培うことのできる、実習授業を重要視しています。

そのひとつが、経営学部池上ゼミの行う「産学連携プロジェクト」。同プロジェクトでは、大崎キャンパス近隣の戸越銀座商店街と協同して、土産用コロックを開発・販売しています。学生たちは「コロックのまち」として商店街を盛り上げるべく、土産用のパッケージやコロック店マップ、プロモーションビデオなどを制作し、

教養と専門性を身につけ  
社会で活躍できる人材を育成

開校138年の歴史を誇る立正大学は、長い歴史と経験を受け継ぎつつ、現代社会のニーズに合う大学教育とは何かを探求し続けています。

教育のビジョンとして掲げているのが「モラリスト×エキスパート」の育成。これは自律の姿勢、悲しみや喜びを想像し共有できる感性、社会人としての確かな教養に加えて、高い専門性と技術を備えた人材のこと。立正大学は、そうした資質を社会で活かし、活躍できる人材の育成に努めています。

キャンパスは東京都品川区大崎と埼玉熊谷市の2か所。「人間に関する総合大学」として、大崎キャンパスには心理学部、経営学部、経済学部、文学部、仏教学部、熊谷キャンパスには地球環境科学部、社会福祉学部、法学部の計8学部14学科を設置しています。これらの幅広い分野を学ぶことができるふたつのキャンパスでは、全学生1万1000人のうち約1/3、およそ4000人が女子学生であり、男女ともに豊かな学びを得ています。

保護者アンケートに基づいた  
教育改革を実施

立正大学では、大学教育に対する保護者のニーズに対応すべく、2・3年生の保護者を対象にアンケート調査を実施。「大学教育に期待すること」の項目では、「学士力」を1位に挙げる回答がもっとも多く、本来の大学教育の軸ともいえる専門分野の学びが期待されていることがわかります。一方、1位と2位の回答数を合わせると、「社会人基礎力」を挙げた回答者は全体の60・8%、「人間力」は57・9%と、その占める割合は圧倒的に高くなります(図1参照)。

また、「子に受けて欲しい教育プログラム」の項目では、「就職ガイ

地域密着型の実習授業で  
社会性を身につける

職関連情報の発信などを行っています。

緑豊かな熊谷キャンパスは、東京ドーム8個分の敷地面積を誇る